

会議録

会議の名称	令和2年 第3回東大阪市特別職の議員報酬等審議会
開催日時	令和2年 5月 25日(月) 13時00分から15時00分
開催場所	本庁舎11階 会議室
出席者	石津委員 大石委員 小林委員 高橋委員 田中委員 平本委員 村岡委員 事務局
欠席者	なし
案件名	・市議会議員の議員報酬額及び期末手当のあり方について
提出された資料等の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討の際の指標</li> <li>・ 消費者物価指数</li> <li>・ 民間給与実態統計調査結果報告(平成30年分)抜粋</li> <li>・ 2019年度大阪東部地区商工会議所賃金調査結果概要</li> <li>・ 本市の決算状況(平成30年度)</li> <li>・ 中核市の議員報酬・定数(令和2年4月時点)</li> <li>・ 本市職員の期末・勤勉手当支給月数の変遷</li> <li>・ 議会開催状況、審議結果(平成27年～令和元年)</li> <li>・ 政務活動費について</li> </ul>
決定事項	第4回審議会の日程 議員報酬等のあり方検討における政務活動費の取扱い・検討の方向性
会議の公開、非公開	非公開
会議録の公表、非公表	公開(議事概要)
所管部署(事務局)	行政管理部 職員課

審 議 内 容

**事務局より資料説明**

以下9項目について説明

- ・ 検討の際の指標
- ・ 消費者物価指数
- ・ 民間給与実態統計調査結果報告(平成30年分)抜粋
- ・ 2019年度大阪東部地区商工会議所賃金調査結果概要
- ・ 本市の決算状況(平成30年度)
- ・ 中核市の議員報酬・定数(令和2年4月時点)
- ・ 本市職員の期末・勤勉手当支給月数の変遷
- ・ 議会開催状況、審議結果(平成27年～令和元年)
- ・ 政務活動費について

その他、5月1日に開かれた臨時議会において、議員報酬について令和2年6月より6ヶ月間、

10%減額する決定がされたことについて報告

#### 委員からの意見

- ・ 政務活動費調査等協議会の見解及び検討状況はどうか。
- ・ 近隣市の政務活動費に関する資料はあるのか。
- ・ 議員報酬と政務活動費は、別で検討すべき。
- ・ この先1～2年は、議員報酬もコロナウイルス対策費等の予算を考慮しながら考えてはどうか。
- ・ 東大阪市の議員報酬は他市（中核市）と比較しても高い。下げた方がいいのでは。
- ・ 議員定数が同じ規模の中核市で比較した場合や、近隣都市と比較した場合でも東大阪市の議員報酬は高額
- ・ 平成8年から報酬金額の見直しがなく、ずっと変わっていないのは、おかしいと思う。
- ・ 報酬金額は10%ぐらい減額した金額が、市民感情的にも受け入れられるのではないか。
- ・ 他市の財政状況を踏まえて比較した場合に、本市の報酬金額に妥当性はあるのか。
- ・ 議員の仕事量・活動量は個人によるものも大きく、単純に測れないので、他市との比較要素とするのは難しい。
- ・ 報酬金額はモチベーションに繋がるものなので、慎重に検討すべき。
- ・ 住民感情は大きな要素であり、近隣の八尾市などと大きく差があるのは良くない。
- ・ 給料は物価など地域性を考慮する必要があるので、全国で比較することには疑問を感じる。
- ・ コロナウイルス等の影響で、この3年間は景気が悪化すると考えられる。今回報酬金額を見直した場合でも、今後の景気の変動に応じて報酬を見直せるようにすべき。
- ・ 次回審議に向けて、事務局には10%減額の場合の金額や順位について資料作成を求める。また、参考として、その前後の5%、15%減額した場合についても同様の資料の提出を。
- ・ 他市の財政状況が分かるような資料についても、提出を求める。

#### まとめ

- ・ 議員報酬の検討における政務活動費の取扱いについては、性質が報酬とは別のものであることから考慮しないこととし、報酬のみで審議する。
- ・ 議員報酬について、検討の方向性としては減額とする。減額の割合については次回審議し、減額の理由についても整理する。
- ・ 議員報酬については今後景気の変動に応じて見直すべきという意見を答申に付す。

#### 次回配布予定資料

- ・ 平成30年度決算状況（中核市）
- ・ 報酬減額シミュレーション（5・10・15%）

#### 次回の開催日程等

第4回の審議会：開催日 6月15日（月）午前10時  
場 所 11F会議室（予定）